

圏央道の整備見通しは

二十四年度開通に向けて国などに働きかけていく

議員(自民) 来年度からの道路特定財源の一般財源化を踏まえ、圏央道の県内区間の今後の整備見通しについてどう考えているのか、建設促進に向けた決意のほどを含め、知事に伺う。

知事 圏央道は、県南西地域の発展にとって、極めて大きな役割を果たす道路であり、平成二十四年度の開通に向けて、必要な道路財源を確保し、着実に整備促進を図っていくよう、国などに強く働きかけていく。

議員 来年度から実施される予定の土木事務所再編や業務の集約化などに伴い、特殊車両通行許可など各種許可申請の手続きや工事検査業務などについて、サービス水準の低下を招かないよう、どのような対策を考えているのか。



平成24年度の県内区間全線開通を目指す圏央道

土木部長 許可の受付窓口の集約化後も、業務が遅延し、サービスが低下しないよう迅速な事務処理に努める。また、工事検査業務については、検査担当職員を集約して配置することにより、機動的・弾力的な検査が実施できるようにすると考える。(ほかに、小中学校の耐震化の促進、農業集落排水事業の普及促進、学校給食の安全性確保なども質問)

TX沿線に遊びのビジョンを

大集客の見込める施設の誘致に努める

議員(自民) TX沿線開発成功には、職や住だけではなく、遊び面の取り組みも重要。先端技術や豊富な農産物を活用したレジャー施設を集める夢のある将来構想の策定や具体的な暮らし方の提唱を提案するが、所見は。

知事 サイエンスツアーや全国的にもユニークなロボットミュージアムを備えた大型商業施設など、遊びにつながる資源を有効活用し、大きな集客の見込める施設の誘致にも努める。また、電線地中化やソーラー発電住宅の供給などに取り組み、エコやIT・ロボット技術を活用した暮らし方などを提案していく。

議員 倒産が相次ぐ建設業に対し、真に必要な公共事業の追加実施や専門相談窓口の設置など支援が早急に必要。支援策は。

土木部長 これまでに相談窓口



TX沿線ならではの集客施設「ロボットミュージアム」(研究学園駅前)

の設置やダンピング対策の強化、公共工事代金の資材高騰への対応などを実施。十一月に中小企業向け施策を目的別に紹介した支援プログラムを作成、説明会を開催し、十二月には完成前の公共工事代金の債権譲渡による融資制度を導入した。(ほかに、若者、障害者、犯罪被害者の支援策なども質問)

常陸大黒を県北の名産品に

名産品づくりへ連携を強化

議員(自民) 本県が育成したハナマメ「常陸大黒」の生産を拡大し県北の名産品として育て上げるため、どう取り組むのか。

農林水産部長 常陸大黒は、生産者が本年度八十八名、加工品販売店は県内十四店、ホテルやレストラン七か所を取り扱われており、商品開発などを支援し、観光キャンペーンや物産展などでPRしていく。また、安定生産に向けた技術指導や販路拡大に努め、新規生産者の育成を支援するなど、商工労働部と十分連携しながら生産拡大と名産品づくりに努める。

議員 産科医の負担軽減のため、助産師の積極的活用を図るべき。

保健福祉部長 正常な妊娠出産の場での助産師の積極的活用は、産科医の負担を軽減する有効な手段である。産科医不足の危機



「常陸大黒」(ひたちおぐろ)

的な状況を打開するため、助産師の確保を図りながら、助産師外来や院内助産所の開設を積極的に進め、産科医が少ない地域でも安心して出産ができるよう努める。(ほかに、将来負担比率、全国高等学校総合文化祭の本県開催、全国学力・学習状況調査結果の公表なども質問)

常任委員会に付託された

請願の審査結果

- 総務企画委員会
- すべての子どもに、ゆきとどいた教育をすすめる心のかよう学校をつくるための請願 不採
 - 平成二十一年度私立高等学校等経常費等助成に関する請願 採
- 文教治安委員会
- 教育格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願 不採
 - 茨城の障害児教育の充実を求める請願 不採

採：採択／不：不採択

意見書(要旨)

茨城空港の活用に関する意見書

国においては、次のとおり茨城空港の活用を図られるよう強く要望する。

- 1 茨城空港を首都圏第三の空港と位置付け、国際・国内定期便はもとより、チャーター便及びローコストキャリア*の拠点空港として活用できるように、着陸料、航空機燃料税、航行援助施設利用料を引き下げるとともに、首都圏におけるビジネスジェット*の拠点としても位置付け、国が必要な基盤整備を行う。

災害時に茨城空港が羽田空港、成田空港の代替空港として活用できるように、国が大型機の離着陸を可能とするための基盤整備を行う。

青少年を有害情報から守る携帯電話の利用環境の整備を求める意見書

- 国においては、青少年を有害情報から守るため、次の事項について特段の配慮をされるよう強く要望する。
- 1 平成二十一年四月施行の「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環

心の整備等に関する法律」に

ついて、フィルタリングサービスの普及が進むよう国民の理解を促進するなど、適切かつ効果的な運用を図る。

- 2 フィルタリング機能の解除後に再設定をしない場合でも、一定時間経過後は自動的に再設定されるサービスを導入するよう、関係事業者に求める。
- 3 フィルタリングの対象となる有害サイトと非有害サイトが、適切に区分されるよう、関係事業者に求める。
- 4 インターネットの安全・安

心な利用のための啓発を行う

ボランティアの養成や、啓発講座の開催、啓発資料の配布など地域での啓発を推進する。

- 5 小・中・高等学校などにおいて、児童生徒のみならず、保護者や教員も対象にした情報モラル教育の充実を図る。
- 衆議院議員選挙における中選挙区制の復活を求める意見書
- 衆議院議員選挙は、平成十六年以降、政策本位、政党本位の選挙ができる、政権交代の可能性が高まり常に緊張感ある政治が行われると謳われ、小選挙区比

例代表並立制で実施されてきた。

しかし、そもそも小選挙区制は、死票が多く当選者以外に投じられた民意が議席に反映されないこと、選挙区が狭く議員と住民が密接になることから、地域課題の解決に没頭し国家的課題に取り組む議員が少なくなる

- ことなど、多くの問題を抱えていることが、制度導入後四回の選挙を経て露呈してきている。よって、国はこうした状況を真摯に受け止め、小選挙区比例代表並立制を廃止し、中選挙区制を復活させるよう強く求める。

※【ローコストキャリア】…値段的に安い航空会社を指す。略してLCC(エルシーシー)ともいう。
 ※【フィルタリングサービス】…インターネット上の情報を一定の基準により選別して、青少年に有害な情報の閲覧を制限するサービス。又は、閲覧制限ソフトウェアの利用に必要な情報を提供するサービス。